

軽自動車税(種別割)廃車申告書兼標識返納書  
(原動機付自転車・小型特殊自動車)

令和 年 月 日

市町村長 殿

つぎのとおり申告及び標識の返納をします。

申告の理由	種 別		標 識 番 号	廃 車 年 月 日	令 和 年 月 日
	廃 車	原動機付自転車			
<input type="checkbox"/> 廃棄 <input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 転出 <input type="checkbox"/> 盗難・紛失 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 第一種 一般原付 (0.05L又は0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第一種 特定原付 (0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 乙 (0.09L又は0.8kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 甲 (0.125L又は1.0kW以下) <input type="checkbox"/> ミニカー	<input type="checkbox"/> 農耕作業用 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

納 税 者 (申告)	住所又は所在地	〒 □□□-□□□□		主たる定置場	1. 左記所有者の住所又は所在地と同じ			
	(フリガナ)氏名又は名称				2.			
	生年月日	明・大・昭・平・令 年 月 日	電話番号		車 名	型式及び年式	原動機の型式番号	
	生年月日	明・大・昭・平・令 年 月 日	電話番号		車 台 番 号	型式認定番号	総排気量又は定格出力 L kW	
義 務 者 (使用)	住所又は所在地	〒 □□□-□□□□		標識返納の有無	標識返納がない場合、その理由			
	(フリガナ)氏名又は名称				1. 有 イ. 盗難 ロ. 紛失 ハ. 破損 ニ. その他 ( )			
	生年月日	明・大・昭・平・令 年 月 日	電話番号		2. 無	【具体的に:		
	生年月日	明・大・昭・平・令 年 月 日	電話番号			】		
届 出 者	住所又は所在地			盗難届出	届出年月日	令和 年 月 日	被害年月日	令和 年 月 日
	(フリガナ)氏名又は名称				届出警察署	警察署 交番・駐在所		
	電話番号				受理番号			
【注意事項】				備考欄	本人確認		受付印	
・一時不使用を理由とした廃車申告は認められません。 原動機付自転車や小型特殊自動車を、所有していることに対して課税される税金です。  ・廃車手続後、継続して車両を所有していることが判明した場合は、遡及して 軽自動車税(種別割)を課税することがあります。					<input type="checkbox"/> 納税義務者 <input type="checkbox"/> 届出者 <input type="checkbox"/> 販売店業者 確 認 書 類 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

### 第34号様式記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税（申告・報告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。  
また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほか棟号数、室番号又は〇〇様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
- 5 「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 6 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 8 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 10 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出した年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。